

越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会
会長 高野 淑 恵
〒343-0021 越谷市大林235-9
TEL・FAX 048-977-1908
発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 高野 淑 恵
〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2丁目
4-16 ハウス第五仲町 101
TEL 048-833-0444
FAX 048-833-0400
発行日 令和6年9月30日
購読料 20円は会費に含む



『ほんじゆの福祉…』

越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

平素よりご支援ご協力戴いております。皆様には厚く御礼申し上げます。

今年の夏も猛暑です。毎日、地獄の窯の蓋を開けたような熱波が容赦なく照り続けています。日本は熱帯雨林化しているようです。

日本の美しい春と秋は楽しむ間もなく過ぎ去って、「四季折々の美しさ」という言葉はいつか死語になってしまうのでしょうか…残念ですね。

知的に障害のある息子がまだ幼かった頃、あちこち旅行をしました。京都の哲学の道ではほんなりと美しい枝垂れ桜の下を歩きました。福島の「天鏡閣」では、色とりどりの紅葉が、降るように舞い散っていました。

あれらの風景はもう見られなくなってしまうのでしょうか。

日本から廃れ、薄れ、消えて行ってしまつのは季節だけではありません。他者を思いやったり労りあったりする優しい心も消えてしまつていきました。改正差別解消法によって本年から「合理的配慮」が民間事業者にも義務化されましたが、社会に浸透するまでには途方もなく長い時間が掛かりそうです。哀しいかな、日本は『個人主義』の世の中になつていこうとしています。

人には人の事情があります。誰もが横一線に同じにはなり得ません。第二次大戦中に国民にそれを強いて、「隣組制度」や「贅沢は敵だ」などと非人間的で全体主義的なイデオロギーで、国民の命と民主制を殺してしまつたことを、決して過去のことに忘れてはなりません。多様性を認めあえない社会に「共生社会」は絶対に訪れないでしょう。

健常者と言われている人の中にも思いがけず「生き辛さ」を抱える人がいます。例えば「起立性調整障害」。これは原因不明ですが、中高生の10%が患っています。朝起きられない、午前中はめまいがする、午後になると何とかが動けるようになりますが、周囲には「怠け者」とか仮病と言われ、家族にさえ理解してもらえないことで悪化します。治らないものではないので、家族が気長に寄り添ってあげてください。特効薬は親の愛と信頼です。

また、「境界知能」と言われる人が人口の14%もいます。知的障害と言われる知能指数70〜75の人と健常者と言われる知能指数100の人の間にいる人です。つまり知能指数が80〜90くらいの人たちです。知的障害でも発達障害でもないこの人たちは、家族の支援だけで

必死に生きています。福祉の支援も得られません。なぜこの人たちが知的障害と認められないかというと、それは国の予算、財政の問題で、この14%の人たちを知的障害と認めてしまうと、障害基礎年金やそのほかの福祉予算が倍増してしまうからです。就職もできず、お金の計算が苦手なので独りで買い物にも行けません。こういう人たちこそ、地域で支援していかねればならないと思います。国がもっと本気で、本当の福祉に目覚めるまで。

地域社会の誰もが「本当の多様性」を理解し、お互いに人としての優しい心で接しあえれば、それが本当の福祉ではないでしょうか。

能登半島地震では、赤ちゃんの泣き声がうるさいと言われ、若いお母さんが避難所を出て車中泊をしていました。知的障害児者は、突然の変化、変更を理解できないことが障害特性なので一般の避難所に行こうとは思っていませんが、どうか赤ちゃんの泣き声は受け入れてほしいです。災害で誰の心も傷み、傷ついているとしても、その傷を癒してくれるのは、暖かく優しい心のふれあいであると、私は思うのです。



令和六年度もスタートし半年が過ぎました。今年も猛暑！酷暑！と毎日考えられない程の暑さでした。そんな中でも、良く食べ、良く寝て、日々、変わらず元気な千草園の皆さんの三カ月をご報告いたします。

越谷市障がい者 交流スポーツ大会開催

七月十八日(木)に市内の事業所七施設が集まり、越谷市総合体育館にて『越谷市障がい者交流スポーツ大会』が開催されました。この大会も今年度で四回目を迎えました。当日は総合体育館の共催、またプラススポーツ指導員の方々のご協力を頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。借り物競争、パン食い競争、ボール運びリレー、玉入れと四つの競技を行いました。約六十名の参加者が集ま

り熱戦を繰り広げました。広い体育館で思いっきり体を動かして、リフレッシュ出来たのではないのでしょうか。



千草園のファイター



皆で集合写真！

流しそうめんのかき氷 七月お楽しみ会



七月二六日(金)の猛暑の中、毎年恒例の『流しそうめんの会』が行われました。当初はおぼつか無かった流しそうめんも、もう今では上手に掴めるようになりました。(手を使う人もいました)それぞれが流しそうめんに果敢に挑む表情は真剣そのもので『こっ！』と言うときの集中力は素晴らしいものがありますね。(笑)夏の始まりを告げる楽しいお楽しみ会になったようです。みんなお腹いっぱい食べて満足そうでした。

たのしかったねっ！ 千草園 夏まつり



みんな上手に食べてます

今年で第十九回目を迎える『千草園 夏まつり』が八月三十日(金)に開催されました。当日は、超ノロノロな「台風十号」「超雨男」の影響により雨模様・・・ということになりましたが、地域の皆さまも参加して頂き賑やかなおまつりを実施することが出来ました。利用者の方々には色々な模擬店をの前にワクワクした表情を浮かべていました。当日は「焼きそば」「フランクフルト」「ポッキー」「かき氷」「射的」「輪投げ」が用意され模擬店を楽しみました。(模擬店ではおかわりタイムもありました。)

そして、今年のアトラクションでは「ごっこくん」のパフォーマンスショーが行われました。マジックあり、大道芸ありの楽しいひと時でした。今回の「夏まつり」にご協力頂きました皆様様に御礼申し上げます。「ありがとうございました。」



見事な枝豆ズンダ！



お神輿ワッショイ！

終わりに・・・

先日、利用者の方で白内障の手術をした方がいました。その方は手術後の病院のベッドから見た月をお母さんに「月が綺麗だったよ！」と話したそうです。今まではどんな風に見えていたのだろうか？利用者の方の「本当の気持ち」は誰にも分らないけれど、人の心に寄り添える人になりたいと思いました。

(田中)



野の花だより

まだまだ残暑厳しい日が続いて
 おります。今年の夏も日差しが強
 く照りつけて連日、猛烈な暑さこ
 なりました。また進みの遅い台風
 により、各地に大雨をもたらす等、
 まさに異常気象。防災上の備えの
 重要さも実感した夏でした。
 今回は、七月から九月までの様子
 をお伝えしたいと思います。



【障がい者スポーツ交流会】

七月十八日(木)に、越谷市立総
 合体育館で障がい者交流大会が行
 われました。前回同様、市内の七事
 業所が集まり、総勢六十八名の参
 加になりました。野の花は今年、白
 組として参加しました。今回の競
 技は、借り物競争、パン食い競争、
 ボール運び、玉入れて他施設と協
 力しながら応援組も含めて、全員

で楽しく盛り上がりました。特に
 玉入れは真剣で、終了の笛が鳴つ
 ても入れよとする程でした。
 ご協力頂いた、パラスポーツ指導
 員の方々、有難うございました。



【夏祭り】

八月二十三日(金)には、野の花内
 で夏祭りが行われました。午前中
 は、室内の飾り付けや模擬店の準
 備をする方と、ポップコーンの準備
 をする方に分かれての活動となり
 ました。昼のお弁当を食べてから
 は、いよいよお待ちかねの夏祭り
 の開始です。祭りの曲がかかり、ハ
 ッピを着ると、皆さんの気持ちも
 高くなっていくようでした。魚釣りゲ
 ームや輪投げゲームでは、真剣な
 まなざしで集中力を発揮して、み

ごとに景品をゲット。ポップコーン
 やかき氷、ポテト等を嬉しそうに
 食され、実習生さんと一緒に真夏
 の一日を締めくくりました。



【グループ別外出】

九月二十日(金)と二十七日(金)
 には、ニグループに分かれて野田
 市にある、清水公園へ出かけてき
 ました。レストランで昼食の後は、
 牧場を見学したり、園内をのんび
 りと散策して過ごしました。



【個別外出】

七月、八月、九月と個別外出が行
 われました。とんかつ、お寿司、天
 ぷらそば等、自分の食べたいもの

を支援員と一緒に事前に決め、当
 日は満足そうにされていました。



【日々の活動…】

自主製食品(ラスク)の販売に「イオ
 ンレイクタウン」と「越谷市役所」へ
 出かけてきました。お客様への販
 売は、利用者さんにとっても良い
 経験で「いらっしやいませ」と元気
 に声掛けを行って下さいます。

七月と九月には、「出張カット」
 が行われました。髪の毛を切って
 もらい、さっぱりすると鏡をじっと
 眺めながら笑顔が見られました。
 その他では、レクリエーションと
 してホットケーキを作ったり、ミユ
 ーシックセラピーを楽しんだりと、
 皆で元気に過ごしました。
 今年も残りニヶ月。体調に気を付
 けながら過ごしていきたいと思っ
 ます。



(高野)

会計報告

《 祝金 》	13,000 円
社会福祉法人 平徳会 様	
社会福祉法人 育樹会 様	
《 賛助会費 》	10,000 円 (10口)
《 売上金 》	
わかめ	7,500 円
ごま	5,250 円
お茶	3,240 円

ご支援ありがとうございます

賛助会員紹介

澤田 裕二 様

よろしくお願ひいたします



ありがとうございました

村上 章雄 様

お米 30 kg を
ご寄付いただきました

ありがとう
ございました 千草園夏まつり



ご協力いただきました皆様

社会福祉法人平徳会 かなめ 様
 グループホーム ふわふわ 越谷 様
 大きいサイズの店 フォーエル 様
 お手伝いいただいたボランティアの皆様



《 編集後記 》

その少女は、10歳位
 でしょうか。マンション
 のエレベーターで時々
 一緒にになります。乗降
 の際に「ありがとうございます
 失礼します。」と、
 それはそれは明るく丁寧
 にかつ軽やかに挨拶をし
 ます。その都度、今日の自
 分の挨拶は、この少女の
 ように相手の心に響いて
 いたかと考えさせられま
 す。 (猪鼻 孝子)

野の花ラスク ご購入 ありがとうございます

チーム白川 様
 深井 まゆみ 様
 鈴木 すみ江 様
 工藤 栄理子 様



千草園クッキー ご購入 ありがとうございます

くらしセンターベしみ 様
 (株) 小林商会 様
 中村 甫尚 様
 小島 瑳由裡 様
 山田 敏子 様
 角谷 裕美 様

